

青少年の活躍

少年の主張下呂市大会

少子高齢化・国際化・情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会—
下呂市の中学生が今何を考え、何を悩み、どんな希望を持っているか、発表しました。

【市民活動推進課】



今年度の「少年の主張下呂市大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、市内小・中学校が臨時休校となったため、例年行っているような各中学校からの推薦者選出ではなく、一般公募により主張作文を募集し、飛騨地区選考会へ推薦する審査会を開催しました。

一般公募により応募いただいた2人の生徒が、「未来への希望や提案」、「家庭、学校生活

最優秀賞

熊崎 快さん(下呂中3年)
題名 「善意のリレー」



地域活動および、身の周りや友だちとの関わり」など、自分が感じたこと、考えたことについて発表を行い、審査員6人が、発表の内容・話術・態度を基準に審査を行い、最優秀賞と優秀賞を選出しました。

なお、熊崎快さんは、7月7日(火)に開催された「少年の主張岐阜県大会」飛騨地区選考会で飛騨地区代表に選ばれ、県大会に出場します。

優秀賞

江原凜太郎さん(小坂中3年)
題名 「今自分にできること」



最優秀賞を受賞した熊崎快さんは、教職員が新型コロナウイルスに感染したという報道を受けて、自粛期間中にマスクを作りし、学校に届けた同校の生徒に共感し、「自分にも何かできないか?」と考え、地域のお年寄りにマスクを手作りして届ける活動を全校生徒に呼びかけました。賛同した32人と共に作成した約300枚のマスクを、民生委員の協力により地域のお年寄りに届けることができた体験をまとめ、「活動を通じて多くの人の心がつながった気がした。善意のリレーを広めたい」と語りました。

優秀賞を受賞した江原凜太郎さんは、太平洋戦争中に戦死した曾祖父のお墓参りをした後、毎年家族で戦争の話をしていて、祖父母から戦争の悲惨さ、理不尽さを教わった。「二度と戦争を起こしてはならないという祖父母の願いを後世に語り継いでいくことが私の大切な使命」と決意しました。

「わかあゆ賞」 受章者の紹介

「わかあゆ賞」は、地域内外で優れた活動を行った市内の小中学校と高等学校の児童生徒や市出身者の青少年を顕彰するものです。
【市民活動推進課】

学芸・文化【1号顕彰】

47人・2団体

木下愛智、高田紗那、西園拓澄、今井愛奈、大林ある菜、日下部希和、佐藤佑聖、今井蒼、竹内萼、今井杏、竹内碧空、増井大樹、熊崎亮、池戸菜乃華、大前沙織、森結愛、加藤日千佳、兼山緑、兼山祭、馬瀬小学校、中村聡里、中島奏、二村公啓、二村大凱、今井弘人、佐藤太聖、細江友香、小池優奈、増井爽太、奥田幹太、細江健太、森本晃生、高瀬幹太、長坂侑真、熊倉美優、大森ひなた、田中沙耶、益田清風、高等学校総合学科観光産業系列、田口真江、河合望愛、中村優里、小畑諒晟、小林ひまり、服部彩乃、小川遥、田口桂史郎、寺前光稀、犬塚響生、大川莉玖



ストリートダンス 佐藤佑聖



BMX
今井珀良



ソフトテニス
川上紗英
井元美月



打楽器七重奏
寺前光稀（後列左から2人目）



リサイクル工作 兼山緑



リサイクル工作 兼山祭



交通安全ポスター
大林ある菜

スポーツ【2号顕彰】30人

今井珀良、水口結樹、船坂龍太郎、富田拓夢、尾里千太郎、藤森良人、今井丈、桑原真羽、二村斗弥、田口正浩、杉本将太、水口一樹、森澤陸、熊崎健留、今井一希、河尻優來、上村莉沙、川上紗英、井元美月、今井菜月、二村優月、今井零斗、山下好史、島田侑空、仲林克樹、平畑侑士朗、小林京、熊崎貴哉、山口倅世、佐伯愛斗

奉仕【3号顕彰】1団体

萩原南中学校生徒会

その他【5号顕彰】

6人・2団体

青木弥李、浅野彩香、石丸夏帆、今村健三郎、江間友音、今井零斗、小坂中学校生徒会、竹原中学校生徒会

以上の皆さんが受賞されました。
おめでとうございます。

※敬称略

※上記の写真は、受賞者の一部を掲載しています。